

アニメーション

少年と一羽の鳩の短い生涯を通して、
かけがえのない命と平和について考えます

文部省選定

中央児童福祉審議会 推薦

優秀映画鑑賞会 推薦

U・Sインターナショナル
フィルム ビデオ フェスティバル 銀賞受賞



はとひろしまの空を

原作・大川悦生

上映時間 21分

16ミリ版 200,000円

ビデオ版 66,000円

価格は税抜 (C#4310)

1999年作品



東映株式会社 教育映像部

〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-1 ☎03-3535-3631 FAX.03-3535-3632

制作意図

小学校の教科書にも掲載されている『おかあさんの木』など、優れた児童文学を残した大川悦生作『はとよ ひろしまの空』の映画化です。

太平洋戦争末期。家族とかわいがってくれた飼主の少年を原子爆弾で亡くし、一羽残されたためすの子鳩は、やがてやさしいおす鳩に出会い、愛の巣をつくり共に卵をかえそうとします。

焼け野原となった町を必死で生き抜こうとした鳩の姿を通して、あらためて、命とは、平和とは何かを問いかけます。

あらすじ

1945年、夏。空襲による戦火が日本の全土に広がっていた頃のことです。

広島に、中学生のアキラ少年が母親と二人で暮らしていました。アキラは五羽の伝書鳩の親子を飼っており、一番幼いめすのミチルをとりわけかわいがっていました。アキラは鳩たちに、遠い戦地に行ったきり音信のない父親へ手紙を届けさせることを夢見ていました。夕焼け空に鳩たちを放つとき、アキラは叫ぶのです。「おとうさん、鳩をやりますけえ、待っててくれんさーい！」

その頃の中学生には勉強どころか夏休みもありません。空襲による火災が広がらないよう建物を取り壊すなど、毎日きつい作業に従事していました。

8月6日の朝。アキラはいつも通り鳩に餌をやって出かけます。空からアキラを見送って戻る途中、ミチルたちは遠い爆音を聞きました。洗濯物を干していたアキラの母親は「B-29じゃ」と、慌てて家に入りました。ミチルと兄鳩が鳩小屋に入ったその時です。ピカーッ！すべてが強烈な光に包まれました。

偶然助かったミチルは、必死に親兄弟を捜します。「誰か助けてくださーい」つぶされた家の中からアキラの母親の声がしました。「どうしよう、兄さん」傷ついて飛べない兄鳩はミチルに言います。「アキラさんのところへ行ってくるんじや！」

地獄絵巻ながらの町を、ミチルはアキラを捜して必死に飛び続けます。勤労働員の現場に着くと、変わり果てたアキラの姿がありました。「きよったな。ちびちゃん」

アキラは手帳を破り、「母さんやられた。僕はまだ死なん」と書きなぐり、ミチルに託して息絶えました。

ミチルが戻ってくると、家の辺りは火の海でした。手紙をくわえてさまようミチルの羽を、やがて黒い雨が濡らしました。

冬が訪れ、原爆の町に雪が降り積もりました。ミチルがいつものように鳩小屋の跡に行くと、負傷した復員軍人が線香をあげて泣いていました。「もしかしたらあの人、アキラさんのお父さんかもしれん。うち、手紙あずかつとるんよ！」必死で飛び回るミチルですが、その人は夕闇に消え去っていきました。

それから間もなく、ミチルはやはりひとりぼっちのおす鳩に出会い、焼けビルの片隅にともに愛の巣を作ります。卵を二つ産み落とし、力を合わせてあたためますが、ある日急におす鳩が得体の知れない病気になる、あと三、四日したらヒナがかえるという晩に、巣の下に落ちて死んでいました。卵はなぜか一つしかかえりませんでした。日増しに成長していく子鳩にミチルは今までの出来事を話してやるのでした。

ところがある日、ミチルは激しいめまいに襲われます。飛ぶことも、えさを食べることもできません。おす鳩と同じように沢山の放射能を浴びていたのです。

夏の明け方、ミチルは夢をみました。光の中で兄鳩とアキラがミチルを呼ぶのです。ミチルはアキラの手紙をくわえると、夢の国へと旅立って行きました。

朝日を浴びた川岸に、原子爆弾でなくした両親のお墓参りに来ていた兄妹が、手紙をくわえて川に流れるミチルの亡骸に気づきました。二人はそばにほんの少し咲いていた花を投げ入れてやりました。ミチルの流れていく先には、大きな金色に輝く海が広がっていました…。

制作……東映株式会社 教育映像部

原 作……大川 悦生 (ポプラ社刊)	作 画……平塚 知哉
プロデューサー……河田富三郎	美 術……山本 二三
小田 幸子	撮 影……白井 久男
脚 本 } ……矢吹 公郎	音 楽……渡辺 博也
監 督 }	

<キャスト>

ア キ ラ……頓宮 恭子	子 鳩……大野まりな
ミ チ ル……山崎和佳奈	ナレーション……坪井 章子

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101

関東営業所	東京都中央区京橋2-17-1	〒104-0031 ☎03-3535-3631
関西営業所	大阪市北区曽根崎新地1-13-22	〒530-0002 ☎06-6345-9026
広島出張所	広島市中区国泰寺町1-5-31	〒730-0042 ☎082-249-3930
高松出張所	高松市本町11-7	〒760-0032 ☎087-851-3766
中部営業所	名古屋市中区錦3-24-3	〒460-0003 ☎052-971-0923
九州営業所	福岡市博多区中洲4-3-18	〒810-0801 ☎092-262-3101
北海道営業所	札幌市中央区南一条西7-4	〒060-0061 ☎011-231-1439